

生徒のみなさん
保護者のみなさま
外部一般のみなさま

2026年4月
金蘭千里中学校・高等学校

金蘭千里のお約束 2025
～60周年を迎え、これまでの、これからの取り組みについて～

0、金蘭千里 60 周年。 カクシンへの通過点。

時代の流れを真摯に見つめ、この 10 年で改革を進めてきた私たち。多彩なチャレンジを通じて 生徒ひとりひとりの独創性と自主性を育む機会を広げ、活気あふれる学び舎に変貌を遂げました。創立 60 年を迎えたこれからはさらなる多様性の時代に調和しながら 個別性と自立性、そして社会性を磨く学園へと 成長を続けていきます。私たちは革新的な取り組みによって 教育の核心に迫り、確信をもって次の時代に進んでいきます。

1、カクシン [核心] のある勉強

1-1、何より、毎日の授業をきちんと行います。

- 週あたり 37 時間の授業を、各学期の終業式まで毎日実施します。
- 年 2 回の授業アンケートの結果や教員相互の授業見学を参考にし、教員は各自授業の改良を重ねます。

1-2、毎日の 20 分テストによる学習習慣の定着をはかります。

- 「一律の宿題をこなす」勉強ではなく「自ら目標を持って工夫する」勉強の習慣を身につけていただきます。
- テスト・期末成績の返却やデジタル採点にオンラインシステム（「Smarty」「BLEND」）も活用します。
- 20 分テスト結果返却において、クラス内（相対）順位だけでなく「到達（絶対）目標」も示します。

1-3、担任面談や懇談、各教科担当者による補習や追試、小論文・面接指導、英作文や記述問題の指導など個別対応を行います。

- 1 学年 1 8 0 人の少人数制であることを生かし、徹底してコミュニケーションを図ります。
- 学期末・学年末の評定「赤点」については教科担当者から直接保護者の方に経緯をご説明いたします。

1-4、「Classi（学校支援ソフト）」の「学習トレーニング」機能を用いたアダプティブラーニングを実施します。

- 主に中 3 高 1 の英数の授業で個に応じた課題を与え、進捗を管理する体制とします。
- 20 分テストの結果返却おける各テストの「到達目標」も必要に応じてアダプティブ化します。

1-5、毎日の学習記録の Classi への入力による学習習慣の可視化をはかります。

- 「学校は道場」の精神の下、生徒と担任の密なコミュニケーションの場として活用します。

1-6、ICT も活用した、生徒のアウトプットの多い（＝ただ聴くだけではない）授業を行います。

- 世代を超え、教科内で情報交換を行い、時代の求める授業を追求します。
- 年に 2 回の授業アンケートを実施して各教員が自分の授業について自己研鑽を行います。

1-7、大学入試改革、就職活動の変化も見据え「主体的な学びを育てる授業」を進めます。

- 高 1 ・高 2 で放課後等を使った探究活動「探究部」を実施し年度末にプレゼンの機会も設定します。
- 中 1～高 1 の「表現」の授業や、演劇ワークショップなど、生徒が主体的に参加する授業を充実させます。

1-8、特に中学時代（義務教育）については、個別の状況に鑑み、その学習の権利を保障します。

- 欠席者のための授業中継を実施し、成績・進級についても高一進学時までは柔軟に対応します

1-9、「ホンモノ」による「学び」の機会を提供します。

- キャンプ・自然研修・校外学習（全員）や海外研修・医療ワークショップ・国内留学（希望者）や各方面で活躍される方々を招いての講演会などで様々な考え方や伝統文化や異文化にふれることで視野を広げます。
- フィンランドへの SDGs 研修（中 2～高 1）を実施します。

2、カクシン [確信] のある生活

2-1、生徒が自己肯定感と社会性を高める学校生活を提供します。

- 学校行事、クラブ活動、生徒会活動など、生徒自身が選択した上でさまざまな体験を行い、自己の多相性を認識し、友人や先輩後輩やコミュニケーションし、自己が成長する場を提供します。
- 学校行事の運営は代表生徒（文化祭総務・体育祭総務（全体）、文化祭実行委員・体育祭実行委員・合唱祭運営委員・キャンプファイヤー委員（クラス））を中心に行うことでリーダーシップを涵養します。
- クラブ活動の活動時間については「原則として月～土で週 4 日まで。日曜日はなし。」とします。ただし 1 学期に 1 回の公式戦 1 ヶ月前は例外とします（その場合も日祝日の練習は半日で 2 回までのみです）。

2-2、人として、社会人として大切なことに重点をおいた生活指導を行います。

- 「正しい容儀で明るく挨拶」を基本とした「金蘭千里五則」を指導方針とし、人を肉体的精神的に傷つけることについては厳しく指導し、服装や所持品、帰宅時立ち寄りなど外形的・形式的なルールについては柔軟に対応・

指導することとします。

2-3、個に応じ、多様性を重視した指導を行います。

- 発達障がいを含めた障がいを持った生徒に対する適切な個別対応（いわゆる「合理的配慮」も含む）を行います。特別支援教育推進委員会での情報交換を普段から継続的に行います。
- 生物学的性とアイデンティティとしての性が一致しない生徒に考慮し、男子の女子制服セット着用、女子の男子制服セット着用を可とします（もちろん、特に体育の授業や宿泊行事などについて、生物学的性とアイデンティティとしての性が一致する生徒にも配慮します）。

2-4、生徒のみなさんに困難が生じた場合には相談できる体制をつくります。

- 「学校生活アドバイザー教諭」を設置し、生徒保護者が学校生活のことを相談できる体制をとります。
- 「いじめ」事案に関しては、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止対策委員会で組織的に対応します。
- 年に 2 回、いじめについてのアンケートを実施し、生徒の状況の配慮に努めます。
- 養護教諭を複数名配置し、（保健室登校への対応も含め）生徒の心身の健康をサポートできる態勢をとります。
- スクールカウンセラーを複数名配置し、生徒・保護者・教員の心理的な相談に乗れる体制を作ります。
- ロイロノートや Classi による生徒から教員へのコミュニケーションも受け付けます。

2-5、主体的な進路選択に寄り添います。

- 進路選択にあたっては担任が面談を重ね、生徒が主体的に決定します。
- 受験すること／受験しないことを強制しません。チャレンジは応援します。
- 進路アドバイザー制度により生徒や保護者が進路についてセカンドオピニオンを得る権利を保証します。

2-6、教員が生徒・保護者に適切な心理状態で適切な対応ができる体制とします。

- 電話対応時間、窓口対応時間、1 回あたり最大対応時間を明示しています。
- 保護者の方がご来校の際は、アポイントメントをとっていただきますようよろしくお願いいたします。
- 教員は基本的にチーム（学校全体）で対応します。
- 生徒の下校門限は教員付添で最大 1 8 時までとします。

3、カクシン [革新] のある学校

3-1、生徒が快適に活動できる学習環境を提供します。

- 各教室に電波時計を設置し、正確な時間を大切にする精神を涵養します。
- 体育館を含め、適切な空調を提供します。
- 体育・クラブの際の更衣環境を整えます。

3-2、ICT を活用した教育を行います

- 「RepeaTalk」「EnglishCentral」「ジャパンナレッジ School」など、各科目の授業で十分に利用します。
- 「ロイロノート」を有効活用し、生徒が自分の考えをアウトプットできる体制を作ります。
- 情報リテラシーに関する外部有識者を招いての講座を毎年実施します。

3-3、ペーパーレス化・電子化を推進します

- 保護者のみなさまへの連絡は原則として「Classi」「ミマモルメ（一斉メール配信）」で行います。
- 生徒のみなさんへの連絡は「Classi」の「メッセージ」「校内グループ」、「ロイロノート」で行います。
- 授業アンケート・生活アンケート・学校評価アンケート・ポートフォリオ（各行事等ふりかえり）もオンラインで実施します。
- 授業中のプリントも基本的には「ロイロノート」もしくは「Classi」でオンライン配布します。

3-4、校務 DX 化を推進します。

- 教員 1 人にノート PC とタブレットを各 1 台貸与し、教育活動に活用させます。
- 教員用グループウェアや Microsoft Teams などを活用し、情報の共有を行います。
- 教学システムについてはセキュリティに万全を期し、クラウド化します。
- 個人情報の取り扱いについて教員に徹底し、必要に応じて研修を行います。

3-5、多様な受験生に受験していただくため、中学受験制度について常に検討し、広報します。

- 帰国生、英語、四科目・三科目（前期）一科目（国語・算数）、適性検査など、多様な人材を確保するための中学入試制度とします。
- 受験予定者を対象としてオープン模試を実施し受験者対象の解説動画や対策動画を制作・配信します。
- 学校説明会や見学会、外部ブースでは本校の考え方を知っていただくように努めます。リーフレットやウェブはメッセージの伝わりやすいものとします。

3-6、地域のみなさまと共存する学校とします。

- 地域みなさまのご迷惑にならないよう、学校への導線を中高生で分けます。
- 通学時のバス・電車内での振る舞いについても指導します。
- クリスマスパーティ（文化部の発表）、吹奏楽部定期演奏会などは地域に開きます。
- 地域のみなさまへの感謝の気持ちの表現として生徒会主催の CleanDay（清掃イベント）を学校として支援します。